

## 災害時のリハビリテーション活動

### はじめに

10月21日、隣の鳥取県においても震度6弱の地震が発生致しました。被災された皆様方に、心からお見舞いを申し上げます。広島県でも相当の揺れを感じた方も多かったと思います。2016年は、熊本県においても大規模な地震がおきております。今後、南海トラフ地震など巨大地震の発生も危惧されています。

災害とは、「人と環境との生態学的な関係における広範な破壊の結果、被災社会がそれと対応するのに非常な努力を要し、非被災地域からの援助を必要とするほどの規模で生じた深刻かつ急激な出来事」と定義されています。

日本は、入り組んだプレートや火山帯も多く、地震が発生しやすい地域です。台風の通り道にあたるなど、その他の自然災害もいつ起こってもおかしくない状況です。広島県では、集中豪雨による大規模な土砂災害も発生しています。また、福岡であった大規模な地盤沈下なども、人為的な災害も起こる可能性があります。

生活を支える要の職種として、リハビリ職は、いづどこで起こるか分からない災害に、すぐ活動出来る体制を整えておく必要がありますし、また、期待もされています。

### 災害に関わる医療の団体の例

- ① DMAT Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム
- ② JMAT Japan Medical Association Team 日本医師会災害医療チーム
- ③ DPAT Disaster Psychiatric Assistance Team 災害派遣精神医療チーム
- ④ JRAT Japan Rehabilitation Assistance Team 大規模災害リハビリテーション支援団体協議会

災害時に関わる医療の体制として、上記のような団体があります。

DMATは、漫画やテレビドラマ等にもあり、聞き覚えがある方も多いでしょう。急性期に災害地へ赴き、救命治療を目的とした医師等を中心とした医療チームです。

まず、災害が起これば真っ先に動くのがDMATです。その後JMATやJRATへ引き継がれます。

我々が、主に活動を行うのは、名前の通りJRATとしての活動になります。JRATはリハビリ関連13団体で組織する協議会です。JRATからは、都道府県ごとに活動を行うべき組織作りを要望されています。

### 熊本地震での広島JRAT（仮称）の活動

仮称とあるように、広島JRATの正式な発足とはなっていませんでした。しかし、熊本地震の際には、POS各会で、参加可能者を選抜し、チーム編成を行い、4チームが支援に向かう事が出来ました。支援に際しては、費用等の都合上、JMATとして参加（チームに一人医師を配置するように指示）。支援チームの中には、2名の広島県言語聴覚士会の会員も参加を行ないました。

広島県では、JRATの他に広島県が組織する公衆衛生チームもあり、こちらからもPT、OTの方が参加しています。

### これからの課題

熊本地震のように、他県で発生した災害には、派遣といった形で参加しました。もし、広島県で発災した場合には、他県からの応援を受け入れコーディネートしていかなければなりません。その為の準備も必要です。

昨日、平成28年12月9日に広島JRATが正式に組織化されました。中身はこれからですが、第一歩を踏み出しました。

有事に備え、災害時に派遣参加が可能な方は、広島県言語聴覚士会の災害派遣名簿への登録をお願いします。（派遣に際しては、その時に可能かどうかを再度確認致します。派遣期間は熊本の時には、3泊4日でした。）

HPに登録フォームを載せておりますので、ご確認下さい。

平成28年12月10日 副会長 杉村 暁生